

阪大大学院工学研究科と産技研の研究連携協定書調印式
大阪府立産業技術総合研究所理事長 あいさつ

- ただいまご紹介いただきました大阪府立産業技術総合研究所理事長の古寺でございます。
- 本日、大阪大学大学院工学研究科と大阪府立産業技術総合研究所との間で、研究連携協力に関する協定を締結する運びとなりましたことを、大変喜ばしく思いますとともに、ご尽力いただきました関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。
- 私ども産技研は、平成 24 年 4 月に地方独立行政法人として新しいスタートを切りました。独法化とともに、オープンイノベーションを掲げ、企業の皆様の技術開発パートナーとしての役目を通じて、関西経済の発展に寄与すべく努力してまいりました。
- 公設試である産技研の特徴のひとつに、企業の方々の技術相談窓口として多種多様な相談が寄せられることがあります。そして、そのご相談対して、試験分析や受託研究などの他、技術普及や人材育成など、技術課題の解決や情報提供のための多種多様なメニューを持っていることも特徴です。この特徴を強みとして、先進的なご提案ができるよう、新しい分野にもテーマを設定して技術開発に取り組んでいます。
- 例えば、平成 25 年度より「革新型電池開発」、「薄膜・電子デバイス開発」、そして「最先端粉体設計」という 3 つのテーマでプロジェクト研究を実施しています。
- 産技研では、平成 11 年度に金属粉末積層造形装置を導入し、さらに、平成 24 年度にも新規に装置を導入することができ、「最先端粉体設計プロジェクト」を立ち上げて、高付加価値化のためのものづくり技術の研究開発を進めてまいりました。
- ご説明にありました SIP プロジェクトにおきましては、私ども産技研のこれまでの取り組みが活かされる場を与えていただいたものと、感謝申し上げますとともに、その責任の重さに気を引き締めて、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

- 産業界の要請に基づく実学的伝統をお持ちで、なおかつ先進的な気風にあふれる大阪大学工学研究科と研究連携協定を結ぶことにより、私ども産技研の強みをさらに活かしてミッションに取り組むことができ、企業の研究・技術開発に対してより高度な支援を実現することができるものと期待しております。

- 皆様のご協力を得ながら、地域経済の活性化とものづくり技術の向上のためさらに尽力してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻をいただきますよう心よりお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。